

令和2年度「地域づくり推進賞」受賞団体

取組名・団体名	代表者名	取組の概要
地域住民で支えあい、 つながりあう活動 城西まちづくり協議会 (津山市)	会長 たかす しょうみょう 高須 昌明	津山市城西地区において、地域の歴史と文化を尊重したまちづくりの推進に取り組む。 2016年度から、内閣府モデル事業や自主事業として地区防災計画づくりを始め、2020年1月に県内で初めて災害時に避難行動などを地域で事前に決めておく「地区防災計画」を策定した。
地域福祉活動 (ボランティア活動) 特定非営利活動法人 ひまわり (鏡野町)	理事長 まきの けいこ 牧野 恵子	「ふれあいの里」と名付けたデイサービスを週に1回実施し、高齢者の健康チェックや給食提供などをボランティアで取り組む。加えて、美作高校の授業の一環として福祉専攻学科生徒の受け入れや、地元保育園との交流会を行うなど、高齢者が住み慣れた場所で生き活きと活動できるよう支援している。
ササユリを通じた 地域資源の保護活動 ササユリの会 (勝央町)	代表 たけうち しんすけ 竹内 眞介	県北でも自生地が少ないとされる発芽から開花まで5年かかるササユリの保護活動に、2005年頃から自生地の勝央町下町川地区で取り組む。ササユリの先進地視察等を通じて、栽培地を拡大するなど活動の輪を徐々に広げており、こうした取組は地域資源の再認識につながるとともに、共感を集め、会員数の増加にもつながり、地域の連帯を高めている。
奈義町通所付添サポート事業 住民ボランティア なぎサポ (奈義町)	代表 かわかみ れいこ 河上 玲子	2019年2月から奈義町が自宅で風呂に入れない要支援者等のために、入浴通所付添サービスを開始。なぎサポは担い手として、住民主体で利用者の移動付添と入浴時の見守り支援を行っている。さらに、2020年1月からは週1回開催される百歳体操会場やサロンへの通所付添サービスを開始し、活動の拡大が進んでいる。
花と文化の心ゆたかな ふるさとづくり 大茅地区活性化協議会 (西栗倉村)	会長 いのうえ よしのり 井上 義徳	2015年からの5年間で、源流の集落の棚田の斜面に16,000株の芝桜を植え付け、「おおがや芝桜公園」として多くの来場者を集客した。また、芝桜の植栽活動には、企業や学校が社会貢献活動として参加し、活動を通じて幅広い世代での交流が生まれるとともに、地域住民が連携し地域の課題に取り組む意識が醸成されている。

※行政順、敬称略